

使えるお金のふやし方！ (資産形成コラム)

～最近、お金使えていますか？～

欧米ほどではないですが、ここ数年日本も急激に物価上昇を実感する日々となりました。電気代やガソリン代、毎日の食品のような生活に密着したモノの高騰はなかなかこたえますよね。それ以外でもお酒やたばこのような嗜好品に始まり趣味で使うあれやこれ、車や住宅（不動産）のような元々高額な商品は更に高くなり、購入することを躊躇ったり控えたりするような感覚になりますよね。ちなみに8月にカナダのバンクーバーへ2週間の短期留学に行った次男（高1）は水のペットボトルが3カナダドル（約300円）昼食のハンバーガーが30カナダドル（約3,000円）したことにビックリしていました。ソニー銀行のデビットカードを持たせていたのですが、毎日私のメールアドレスに届く通知を見て、次男の口座残高が予想していた以上にみるみる減っていく現実に、知ってはいたもののやはり驚きました。もはやデフレの時代は過ぎ去り、インフレの怖さを実感する毎日です。（参考資料添付）

ただ、そうは言っても毎日の生活は当然続きますし、必要なモノや欲しいモノは次々と出てきます。そんな中、何かを買うたびに躊躇ばかりして

いては、胃が痛くなりそうですし、実際体調を崩してしまうかもしれません。

ではどうするか？答えは簡単、使えるお金を増やすことです。仕事を増やしたり（今と別の収入元・副業をする）、出世して昇給を目指したり、私の仕事でもある金融商品による資産運用を行ったり、不動産投資をしたり、国が一生懸命進めている個人型確定拠出年金・iDeCo やNISAを始めたりと、具体的な方法は人それぞれだと思います。しかし、その増やしたお金あるいは貯蓄してきたお金、本当に使えますか？当然お金はモノやサービスと交換して初めて価値を実感することになりますが、その行為つまりお金とモノとの交換を安心して行えていますか？

「ちょっと何言ってるか分かんない？」と思われている方へ、もう少しかみ砕いてお伝えします。例として運用でふやしたお金についてイメージしてみてください。ふえた・ふやしたお金を数字で見た時に、どのような感情になりますか？まだ増えそうだな~とったり、一度は増えたけどこの先減ってしまうかも~とか、今使ってしまった大丈夫かなあ~とか、ウクライナ戦争が長引いたら・・・、もっと円安が進んだら・・・、あるいはアメリカの景気が後退したら日本経済にも大きな影響が出るのでは・・・、

台湾有事が起きたら・・・、まあさまざま政治的経済的要因を自分の資産運用に結びつけたり、正直プラスなのかマイナスなのかも分からない要因で心配になったりと、常に感情を揺さぶられて仕事が手に付かない、夜眠れないなどの状況になっていませんか？という事なんです。実際はここまで大げさではないにしろ、そのような感覚で実際にインフレに負けないようなお金のふやし方が出来ていなかったり、増えているお金が使えていない理由というか状況、何となく理解していただけますか？

いよいよ本題、使えるお金のふやし方。つまり様々な感情に左右されずにストレスなくお金を使えて、かつ昼は仕事に集中して夜はぐっすり眠れる方法をお伝え出来ればと思います。補足として、先程の感情はノーベル経済学賞を受賞しているダニエル・カーネマンの「プロスペクト理論」の中にもいくつか例がありますが2つだけ紹介します。1つは、「人は1万円を手に入れるよりも、1万円を損する方が精神的に大きな影響を受ける。」増えた喜びは小さく、失うショックは大きくなります。もう1つは「人は確率が低い時に大きく評価し、確率が高い時には小さく評価する。」具体的には宝くじが分かりやすいでしょう。宝くじの当選確率は限りなく低いにも関わらず、もしかすると当たるかもしれないと大きな期待をして

しまいます。つまり、どちらも客観的・合理的な判断ではなく、極めて主観的な判断を多くの人にしてしまうということです。

私たちの行動心理を理解していただき、いよいよ使えるお金のふやし方です。それには『**お金の減らし方**』を知ることです。「はあ～、バカじゃないの～」「お金のふやし方から、なんでお金の減らし方の話になるの～」と思われたでしょう。今年の夏の尋常じゃない暑さで、おかしくなってしまったわけではありません。この後の話を読んでいただければ納得していただけると思いますので、安心してくださいー応正常、のつもりです。

お金のふやし方は先程お伝えした通り、それぞれが自分自身の状況に合わせて仕組み作りをしていけば良いと思います。夜ぐっすり眠れる仕組み作りをご希望の方は私にご相談ください。そして、そのふやしたお金をストレスなく使う方法として、いかに感情のコントロールが大切かご理解いただけたところで、お金を減らすとはどういうことか？を客観的に合理的に感情に左右されず理解してみましよう。お金を意図的に減らす行為（お金を使う行為）とは、つまり日々の食事、快適な生活のための水道・電気・ガスの使用、つまり毎日仕事終わりのビール・お酒・食後のデザート、つまり家族でのんびりと温泉旅行・アクティビティも兼ねたキャンプ、つまり子どもが一生懸命頑張っているスポーツの習い事・学力を向上したいと

通う学習塾・楽しく続けている英会話、そして日々の移動で使う車、人によってはまだまだお金を減らす方法を実践されていると思いますし、私自身も実際にはもっとたくさんのお金を減らす行為を日々、実践しています。もう、お分かりだと思います。お金を減らすことで、私たちは日々喜びを感じ、毎日の生活を豊かにしているのです。お金が減ることでストレスが発生しているのは、非常に主観的な感情というか、減ることへの実態を伴わない不安でしかないのです。もう一度、客観的に合理的にお金が減ることを考えてみてください。そこにはプラスの結果しか本来無い筈です。

しかし、実際にはお金が減りに減って、使えるお金が無くなった時は話は別です。不安でしかありません。つまり使えるお金がきちんとある状態、しかも現状のインフレ(物価上昇)にも負けないようふやして行きながら、お金減らして、毎日を楽しむ。これが理想であり、上手なお金の使い方だと個人的には思います。

固定資産と流動資産、最後にこの話をして使えるお金をどうふやして行くのか、そしてそのお金を上手に減らす方法=減らして楽しむのかが伝われば幸いです。ちなみに、サンタ通信 8&9月号に私たち家族の夏の出来事を書きましたが、お察しの通りまあまあのお金が減りました。皆さ

んもお盆や、これから来るお正月はいつも以上にお金が減る時期だと思
います。つまり楽しみが多いという事です。さて、固定資産と流動資産、簿
記や経理をされている方、会社経営をされている方には馴染みのある言葉
ですし、決算書（貸借対照表）には必ず出てくる項目だと思いたすが、こ
こでは至って簡単に説明します。固定資産は読んで字の如く、固定化され
ていて簡単には現金化出来ず直ぐに使うことが出来ないと考えてくださ
い。流動資産はその反対、直ぐに現金化出来ていつでも自由に使うことが
出来ます。そう、運用でふやしたお金を固定資産化してしまわず、流動資
産として使える状態にしておくことです。ただ、流動資産に代表される銀
行預金はインフレに負けてしまい、使えるお金を生み出すことは出来ませ
ん。夜安心してぐっすり寝ていてもお金がふえて、しかもその資産は固定
化しない仕組み作りこそが、大切になってきます。4人の子どもと4匹の
保護犬と暮らすわが家の資産形成、キーワードは先程から何度か出てきて
いる「夜ぐっすり眠れる資産運用」です。詳細については、個別できちん
と対応させていただきますので、いつでもご連絡ください。使えるお金を
ふやして、喜びや楽しみのためにお金を減らしましょう！

SL2611-3220-9072

〒 870-0029 大分市高砂町 2-50 オアシスひろば 21 9階

ソニー生命保険(株) 大分支社 TEL 097-532-9200

ライフプランナー 山田新悟